

令和 6 年度 第 2 回地域包括支援センター運営協議会 会議報告書

令和 7 年 2 月 26 日（水）13:30～15:00

高梁市役所 3 階大会議室 1

- 出席者 難波委員、角銅委員、井上委員、水谷委員、三上委員、山下委員、森田委員、仲田委員、原委員（計 9 名）
- 欠席者 平井委員
- 事務局 森健康福祉部長、大森健康づくり課長、斎藤福祉課長、秋森地域医療連携課長、東健幸長寿課長、内岡健康福祉部次長兼地域包括支援センター所長、赤木所長補佐、江藤主幹、倉橋主幹、助實主査

○議事概要

1. 開 会 内岡所長が進行

2. あいさつ 会長

インフルエンザは落ち着きましたがコロナはまだ引き続き出ている状況です。委員の皆様も感染には十分気をつけてお過ごしください。

本日は令和 6 年度地域包括支援センターの第 2 回運営協議会ということで、皆様方のご意見をいただいて、来年度に活かすための会議となります。どうぞ皆さまよろしく願いいたします。

3. 協 議 事 項 仲田会長が進行

（1）令和 6 年度 高梁市地域包括支援センターの運営状況について

内岡所長が説明 資料 P1

質問・意見

委員：評価指標 100 パーセント達成というのは努力あつてのことと思うが、何を改善されて 100 パーセントになっているのでしょうか。全国と比べて何が秀でているのか。

事務局：直営の包括のため、人員が確保しやすい。介護保険事業計画に基づいて運営しておりますので、達成しやすいというのがあります。

委員：修正して 100 パーセントにしたのか

事務局：運営方針を 4 月中に承認が必要であることについて前年度の運協で承認いただくようにしたこと、相談事業の終結の条件を定めたこと、情報提供に関して台帳を作成して保管すること等があげられます。

（２）高齢者と介護保険の状況

赤木所長補佐が説明 資料２ ページから 11 ページ

質問・意見

委員：報告を聞いて、初めて介護認定を受けるのが 90 代以上の方も沢山おられるということとはすごいことですね。

委員：日常生活自立度と認知症自立度は介護認定をするうえで関係しているか

事務局：認定調査と主治医の意見書を持って審査会にかかるものですが、組み合わせによって多少判定に影響があります。

（３）令和５年度の重点的な取り組みの報告

12 ページから 24 ページをパワーポイントで倉橋主幹・江藤主幹説明

質問・意見

委員：人生会議の普及率は実際どのくらいなのか。人生会議という言葉は知っているかもしれないが、実際に聞くことは少ない。認知症の方は症状が進行すれば人生会議すら難しい方もおられる。様々な形でももう少し深く周知していければと感じます。

事務局：昨年の市民公開講座の参加者のアンケートによると約 40 パーセントです。

一般の方だともう少し低いと考えております。

50 代の方に ACP について周知し、親世代の事を考えて人生会議について考えていただくために健診の無料クーポン送付時にリーフレットを同封して幅広く周知していきたいと考えています。貴重なご意見ありがとうございました。

委員：ラインワークスの導入について、アンケートではいい意見がとられていたが、逆の意見はどのようなことがありましたか。

事務局：ラインで書類が送られてくるので、紙の印刷が減ったという意見がある一方で、逆に印刷が増えてしまったという意見もありました。また、今はラインワークスの使用料が無料期間なので活用できるが、利用料が発生した後の利用については不安があるという声を聞いています。

委員：初期集中支援チームについて、取組み自体は非常に良いものと感じているが、報告の中でケアプランの変更を依頼したと報告がありましたが、それは本人の意向ですか。

事務局：ご家族と一緒にチーム員会議を開いておりますので、ご家族の了承のもとケアプランの変更となったケースがあります。ご本人には介護サービス利用希望はなく、ご家族の希

望で安否確認も兼ねてサービスを導入した事例があります。

委員：生活困窮世帯というのはどのような世帯ですか。

事務局：子育て世帯の滞納もあり、本当に生活が困窮しているのか、お金の使い方の優先順位が違わないかと思われる事例もあります。

委員：相談に来られるよりは発掘していく取組みで、連携や情報共有が大事になってくる。こういう内容は、情報提供していいのかプライバシーの関係を考えながらになるのでこちらから発掘していく取組みですね。

委員：ラインワークスの活用について、介護認定情報について、ホームページや広報誌でお知らせしているのか。情報漏洩やセキュリティがどうなっているのか。岡山県では晴れやかネットが活用されていたが。

事務局：行政情報については、保健所のインフルエンザ警報が発令されたお知らせや、健幸長寿課からの介護保険事業所あての情報発信になります。

介護認定情報については、ラインワークスの情報漏洩のセキュリティについて確認したうえで運用しています。まだ一部の市長村が運用している状況で、鶴岡市が今後導入すると聞いています。

委員：うちの母親世代になるとラインが使いこなせないが、利用者が活用できるか。

事務局：説明不足でしたが、ラインワークスは医療・福祉分野の事業所が使う連携ツールですので、市民の方が直接使用することは少ないシステムとなっています。

委員：ラインワークスをオンライン診療に活用できないか考えており、病院のドクターとどうつながるか良い方法があれば考えていきたい。

（４）令和７年度高梁市地域包括支援センター運営方針（案）について

内岡所長説明 25 ページから 34 ページ

承認される

4. その他 助実主査説明

家族介護者交流事業、オレンジガーデニングプロジェクトについて

5. 閉 会

閉会あいさつ（副会長）

本日はお疲れ様でした。高齢者に寄り添い、相談しやすい体制づくりや「お互い様」の精神で近所同士の見守りが大切だと感じています。お疲れ様でした。